

舟橋聖一

是に何は捷のそと大慶至極に存
いふや ああたのはづ之章一いつ
半直さよあふれ 尊厳しおぐんを
りうすうさて 首々 翰林同人が持考
しるし 民衆は其行の小書は手許に
あふれ送る路りなりを 少く書き又小書
しるし 其のそとめと見だし 其りみす
ききとせぬも おしち、めよりた 今後
きくの國ききの教養をいふ あれを
念致るをいふらん 中河五

東京市世田谷區祖師ヶ谷二丁目

中河與一

電話砵一三三番

昭和
年
月
日